

山形県総合コロニー希望が丘しらさぎ寮における虐待事案の発生について（報告）

このたび、当法人が運営する障害者支援施設「山形県総合コロニー希望が丘しらさぎ寮」において、1名の職員が、複数の利用者様に対し、身体を無理に引っ張って移動させる、押し倒す、床を引きずって居室へ移動するなどの行為が施設内で複数回確認されました。

利用者様の尊厳と人格を深く傷つけ、不安や苦痛を与える断じて許されない行為であり、障害者虐待に該当するものと認識しております。

現在、関係自治体による確認・調査が実施されており、全面的に協力しております。

当法人では、過去にも職員による虐待事案が2件発生し、いずれも自治体から虐待と認定されています。そのたびに再発防止を掲げ、お詫びとご報告をしてまいりました。

しかしながら、今回、再びこのような事案を発生させたことは、組織として利用者様の権利と安全を守る仕組みが徹底されていなかった結果であると、厳しく受け止めております。

利用者様、ご家族様、関係者の皆様、地域の皆様に、多大なご心配とご不安をおかけしておりますことを、心より深くお詫び申しあげます。

今後このような事案が二度と起こることのないよう職員教育、管理監督体制、支援方法など再発防止に役職員一丸となって取り組むとともに、外部の第三者の意見を取り入れながら、利用者様の尊厳と権利を最優先にする組織になるため、全力で取り組み、誠心誠意努めてまいります。

令和8年10月9日

社会福祉法人
山形県社会福祉事業団
理事長 加藤 亮